

平成 27 年度温泉地学研究所研究成果発表会プログラム

日時：平成 27 年 12 月 18 日（金） 13:00～16:00（12:00 受付開始）

会場：小田原市民会館 本館 3 階小ホール

■開会挨拶

13:00-13:05 温泉地学研究所長 里村幹夫

■口頭発表（括弧内は発表者）

(1) 13:05-13:25

「2015 年箱根火山活動の概要と防災対応」（竹中 潤）

2015 年 6 月末の箱根山（大涌谷）の噴火を中心に、箱根山で観測された火山活動（地震活動、地殻変動、表面現象）の概要とその際にとられた防災対応について解説します。

(2) 13:25-13:40

「2015 年箱根の地震活動について」（本多 亮）

2015 年 4 月 26 日から始まった一連の地震活動は 5 月の中旬にピークを迎え、その後地震発生数は減少傾向にあります。本報告では、4 月以降の地震発生数や震源分布、震度相当値などについて発表します。

(3) 13:40-13:55

「2015 年箱根小規模噴火に伴った地震について」（行竹洋平）

2015 年 6 月 29 日から 7 月 1 日未明にかけて大涌谷で発生したごく小規模な水蒸気噴火に伴い発生した地震活動に焦点をあて、その特徴について報告します。

質疑応答（13:55-14:05）

(4) 14:05-14:20

「箱根火山活動に伴う地殻変動（1）山体膨張から推定される深部マグマだまり」（原田昌武）

火山活動の源であるマグマの活発化によって、箱根では山体全体が膨張していました。その山体膨張からマグマ溜りの変化を推定するとともに、そのマグマの変化をいち早く捉える開発途上の方法を紹介します。

(5) 14:20-14:35

「箱根火山活動に伴う地殻変動（2）干渉 SAR による大涌谷周辺の浅部膨張」（道家涼介）

2015 年の箱根火山の活動に伴い大涌谷では、局所的な地表面の隆起が人工衛星搭載の合成開口レーダー（SAR）により観測されました。本発表ではその推移と、推定された地下浅部の状態について報告します。

質疑応答（14:35-14:45）

休憩（14:45-15:00）

(6) 15:00-15:15

「箱根山 2015 年噴火とその前後の表面現象」(萬年一剛)

箱根山は 2015 年 6 月 29 日から 7 月 1 日にかけて噴火をしましたが、その噴火の様子について解説をします。また、噴火の前から蒸気井の暴噴や、亀裂発生などが認められたことや、噴火後の噴気の変化についてもお話しします。

(7) 15:15-15:30

「早川の白濁現象とその原因」(菊川城司)

箱根火山の活発化に伴い早川の水が白濁する現象が認められマスコミにも取り上げられました。白濁の状況とその原因について解説します。

(8) 15:30-15:45

「箱根火山活動の火山ガス観測からのアプローチ」(代田 寧)

大涌谷周辺の火山ガス(噴気)の組成変化と箱根火山活動との関係について、これまでの研究成果を整理するとともに、2015 年の活動における観測結果を紹介し、箱根火山の活動予測に対する火山ガス観測の有効性と課題について報告します。

質疑応答 (15:45-15:55)

■閉会挨拶

15:55-16:00 温泉地学研究所研究課長 竹中 潤

■ポスター展示 (休憩時間に研究員が説明します)

(1) 「新しい温泉掲示プレート “Chocotto”」

温泉の利用者にその魅力をわかりやすくちょこっと伝える新しいタイプの温泉掲示プレート “Chocotto” ができました。“Chocotto” の特徴と利用している施設をお知らせします。

(2) 「2015 年 4 月からの箱根火山の活動について」

箱根火山では 2015 年 4 月下旬から地震・火山活動が活発化し、GNSS や傾斜計により、山体の膨張傾向を示す地殻変動が捉えられました。ポスター展示では、活動の概要について紹介します。